

大学等名	北九州市立大学
教育プログラム名	北九州市立大学 データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎）

申請レベル	応用基礎レベル(大学等単位)
申請年度	令和6年度

## 取組概要

### 到達目標・学修成果（プログラムの目的、身に付けられる能力）

データサイエンス、データエンジニアリングおよびAIの基本的な概念と手法、応用例を学ぶことで、「データから意味を抽出し、現場にフィードバックするための方法」と「AI技術を活用し、課題解決につなげるための方法」を理解する。また、社会での実例を題材として学ぶことで、現実の課題へのアプローチ方法およびデータサイエンス・AI技術の適切な活用法を獲得する。自らの専門分野にデータサイエンス・AI技術を応用するための大局的な視点を獲得することがねらいであり、以下を到達目標とする。

1. 豊かな「知識」：社会へのデータサイエンス・AI技術の応用を理解するための基盤となる知識を総合的に身につけている。
2. 知識を活用できる「技能」：データサイエンス・AI技術の実状を正しく理解するために必要な技能を身につけている。
3. 次代を切り開く「思考・判断・表現力」：データサイエンス・AI技術の課題について論理的に思考し、自分の考えや判断を適切な方法で表現する力を身につけている。

肯定的な  
回答多数

**令和5年度 授業評価アンケート 理解度・満足度（5点満点）**  
 社会を動かすデータ活用 理解度4.46点 満足度4.61点  
 社会で生きるAI技術 理解度4.43点 満足度4.50点

### プログラムの概要（開設されている科目の構成、修了要件）

開設科目：社会を動かすデータ活用（2年次～，基盤教育科目），社会で生きるAI技術（2年次～，基盤教育科目）  
 修了要件：「社会を動かすデータ活用」（2単位）および「社会で生きるAI技術」（2単位）を取得すること  
 対象学生：全学部・学群生（令和4年度以降入学生，2年次以降が対象）

**令和5年度 単位取得状況**  
 社会を動かすデータ活用 単位取得者 155名  
 社会で生きるAI技術 単位取得者 225名  
 プログラム修了者数 84名

### プログラムの特徴（授業の方法・内容等）

- ・メディア授業（ライブ配信+ビデオオンデマンド）として実施することにより、希望学生全員の学修機会を確保。すべての授業回について、オンデマンド配信用動画を準備。
- ・LMS，メール等のオンラインでの質問受付・サポートに加えて、教室等で対面での質問受付・サポートの機会も確保。
- ・数理・データサイエンス・AI（応用基礎レベル）モデルカリキュラムの「1. データサイエンス基礎」「2. データエンジニアリング基礎」「3. AI基礎」に準拠。応用基礎コア「Ⅰ. データ表現とアルゴリズム」「Ⅱ. AI・データサイエンス基礎」「Ⅲ. AI・データサイエンス実践」の内容を含む。
- ・申込不要。「社会を動かすデータ活用」（2単位）および「社会で生きるAI技術」（2単位）を取得すると、本プログラム修了。
- ・授業評価アンケート実施により、プログラムの自己点検・評価を行い、適宜、教育プログラムの改善を実施。

### 実施体制

